

広報南島原は、創刊9年目の今号で100号を迎えました。

平成18年3月31日に8町が合併し、誕生した南島原市。創刊号は5月に発行。その時の表紙を飾ったのは、西有家小学校の新入生たちでした。今では中学3年生。大人への階段を駆け上がっています。

広報紙は、今の南島原の情報をお知らせしていますが、前の号を振り返るアルバム的な役割として読み返すのも面白いですよ。市のホームページでは過去の広報紙を見れますので、この機会に読み返してはいかがでしょうか。

100号を迎えた広報南島原。これからさらに“飛躍”する広報紙を作っていきますので、皆さん、楽しみにしてください。

元気はつらつ 南島原の100歳



上田 フジネさん

買い物とひ孫を見るのが楽しみだと話す上田さんは、今年1月で100歳を迎えました。長生きの秘訣について尋ねると「コーヒーを毎朝1杯飲むことと、味噌汁に卵を入れて食べること」だそうです。また、「家族が平和で、にこにこすることですね」と元気に話してくださいました。市内に100歳の人は15人いらっしゃいます（7月15日現在）。これからも元気はつらつで、長生きしてくださいね。

快水浴場百選

平成18年 環境省選定



白浜海水浴場

口之津町にある白浜海水浴場は、マリンスポールの海と白砂青松の美しさが特徴の海水浴場です。また、この場所から望む長崎半島に沈む夕日は、まさに絶景です。海水浴場の横には、温泉施設やキャンプ場があるので、ゆっくり楽しむことができます。そして、砂浜の端には岩場があるので、磯遊びも楽しむことができます。

21世紀に引き継ぎたい 日本の名松100選

昭和58年 (社)日本の松の緑を守る会選定



野田浜

長く続く松林と約2キロメートルにわたる白砂浜とともに、昔ながらの美しい浜辺の風景を楽しむことができる野田浜。近くにはキャンプ場が隣接しているので、この場所で夏の思い出を作りませんか。また、野田浜は、昭和62年、21世紀に引き継ぎたい「日本の白砂青松百選」（社）日本の松の緑を守る会選定）にも選ばれている場所ですよ。

知っていますか？ “ひやく” 南島原の

100号にちなみ、南島原の“ひやく”をキーワードにまとめました。

日本の 棚田百選

平成11年 農林水産省選定



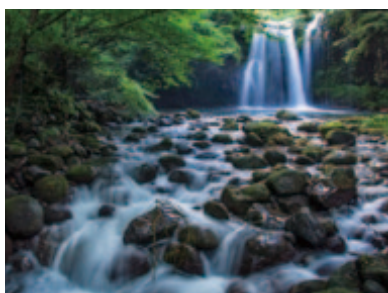
谷水棚田

南有馬町の北西部に位置する谷水地区は、平成8年度「第5回美しい日本のむら景観コンテスト」において農林水産大臣賞を受賞したことから県の推薦を受け、棚田百選に選定されました。

この地区は、水稻の裏作としてバレイショ栽培が盛んで、四季折々の棚田の風景を味わうことができるため、写真スポットとして訪れる人も多いようです。

ながさきいきもの 自然百景

平成26年 長崎県選定



鮎帰りの滝

雲仙天草国立公園内にある白糸で美しい滝として有名です。滝つぼの上には一枚岩があり、その上を川の水が流れ、夏場には多くの人たちが涼を求めて訪れます。また、秋になると紅葉を見ることができ、自然とのふれあいや癒しを与えてくれます。

鮎帰りの滝の他にも、岩戸山（加津佐）や早崎海岸（口之津）、白木野棚田（南有馬）もながさきいきもの自然百景に選ばれているんですよ。

農山漁村の 郷土料理百選

平成19年 農林水産省選定



具雑煮

全国各地の農山漁村で受け継がれ、食べてみたい、食べさせたい古里の味として選定されました。今から370年ほど前、島原地方では悪天候で作物がとれませんでした。その上、年貢の取り立ては厳しく、幕府によるキリスト教の取り締まりも激しくなり、農民らは一揆（島原・天草一揆）を起こしました。この時に餅や山の幸、海の幸を入れて作ったのが具雑煮の始まりだといわれています。

知っていますか？南島原の〇〇〇

南島原市の花は、ひまわりですが、市の木はなんでしょう？

（大地に力強く根を張り、荒波や暴風から街を守るあこは、南島原市が大地に根を張り、未来に向かって手を伸ばし、安心して住める街を皆さんと協働して創り上げよう）